

北九州地区労連ニュース

2025年11月号 No. 229

連絡先 北九州市小倉北区黄金1-4-9-207号

Tel 093-921-0747 Fax093-921-0284

メール k_roren@kitakyushu-roren.sakura.ne.jp

ホームページ https://kitakyushu-roren.sakura.ne.jp/

解雇・残業代未払い・パワハラ
あきらめないで電話して下さい
秘密厳守 労働相談ホットライン
相談無料

TEL093-921-0747

メール k_roren@kitakyushu-roren.sakura.ne.jp

戦争させるな！準備もするな！！

11月3日、平和をあきらめない北九州ネットの北九州集会所が勝山公園で開催されました。地区労連は、平和憲法を守る集会と位置づけ集會参加を呼びかけ、パレード要員を配置し成功をめざしました。

開会あいさつで前田代表は、「自公の連立から自民・維新の連立となった。高市首相は、所信表明で医療・介護など対策が待たなし等、良い事も言うが、防衛費の2%達成を年度内としている。医療・介護の質上げには財源の話がない。軍拡でなく、軍縮の方向にする必要がある。立憲野党が少数だが市民運動で地道に広げることが大事」と話しました。

田村衆議院議員は、「憲法と平和を守る立場で頑張っている。トランプ大統領が来日して、高市首相と原子力空母で会談した。今なお日本に米軍基地があり、負担を押しつけている



のにイスラエルのガザ侵攻停戦でノーベル平和賞と大統領賞を持ち上げ、非核3原則まで否定している。国立病院の積み立てまで軍事費にまわして、東日本の復興税も軍事費にした。戦争国家づくりで熊本や宮崎に長射程ミサイルが配備され、九州が標的になる。政治は軍縮に道を付けることこそ必要」と訴えました。

社民党の宗さんは、「築城基地の米軍基地化を許さないたたかいをしている。2018年ごろから米軍のための倉庫や庁舎など建設し、滑走路の延長も進んでいる。地下基地化で年間100億円以上かけている」と築城基地の現状など報告されました。

◆戦争の反省こそ急げ

大分から参加した「戦争止めよう沖縄・西日本ネットフォーラム」の池田さんは、「戦後80年、その15年前アジアに戦争を仕掛け、中国で虐殺行爲をした部隊の一つが歩兵47聯隊。2000万とも3000万ともいわれる人が殺害された。今、大分にミサイル配置や弾薬庫がつくられ、戦争の火ぶたが切られる不安が身近になって

いる。日本は、非道の限りを尽くした戦争の反省をし、加害者になってはいけない。平和をつくり出す想いを伝えたい」と述べ「ミサイルは、いりません」と作詞・作曲した歌を熱唱されました。



在日3世のイ・テニさんは、「毎週木曜に『高校生の授業料無償化を在日朝鮮人にも』とスタンディングしている。祖父母は、日本に強制的に連れてこられ学ぶこともできず生きてきた。高校が無償化になっただけが、在日の私たちは違う。学ぶ権利は、すべての子どもたちにある。スタンディングで特権と言われたこともあったが、理解してくれる人も増えた。平和で安心して暮らせる社会をめざしたい」と述べられました。

「排外主義を煽らず、武力衝突を回避するため、外交や交流を重ねるために行動しよう」の集會アピールを全員で確認し、小倉駅までデモ行進し、「憲法を守らせよう」「戦争させない、準備もさせない」「武器より、くらし」と元気にコールしました。

雨あがり

日頃の運動不足解消に今年の夏から休日に水泳を始めることにした。子供が小学生の頃には、暑い時期に家族でプールに連れて行って一緒に少しは泳ぐことはあったが、本格的に水泳をするのは数十年ぶりだった。若い頃のつもりで、ある程度は泳げるだろうと泳ぎ始めてみたが最初のうちは、少し泳いだだけで息が上がって全く泳げない状態だった。あらためて体力の衰えを痛感したところだった。それでも週に1回程度のペースで続けていくうちに夏の終わりの頃には、なんとかそれなりに泳げるようになった。泳いでいる人の中で私よりも明らかに年上で高齢の方が、25mプールを何往復もほぼ休憩をしないで連続で泳いでいる方がいたので私も何度か挑戦してみたが、25mを泳ぐと息が上がってしまっただけでしばらく休憩しないと泳げない状態だった。

今後は、長距離を泳げるようになることを目標にして無理をせず楽しみながら水泳を続けて衰えていく体力・氣力を保持して健康を保ち平和で暮らしやすい社会に変えていく組合活動に微力ながらガンバろうと思っているところです。

政治資金と懐憲

10月12日、若松革新懇は、上脇博之神戸学院大教授を講師に「国民が主人公の平和な日本をめざして」と題した学習会をクレハ若松で開催しました。

上脇教授は、「北九大にいたが、若松に来て無人駅が増えていと感じた。世の中ほとんど変わっているが、良いほうならいいがそうならない」と話し始められました。

「国民が主人公」で日本国憲法が活かされれば平和な日本は実現可能だ。敗戦が近づきポツダム宣言が出された、受諾が早ければ原爆が落ちることはなかった。ポツダム宣言には、「軍国主義から決別し、軍隊の武装放棄と民主主義・基本的人権の確立」が求められていた。敗戦で大日本帝国憲法「天皇主権」から、象徴天皇は残ったが、国民主権となった。

今、平和主義は守られず、軍拡が進み福祉の予算が削られる。本来、直接民主主義が基本だが、議会制民主主義となっている。であれば、民意が正確・公平に国会に反映されないといけない。1994年の政治改革で民意をゆがめる衆議院の小選挙区制・参議院選挙区制度と政党助成法がつくられ、得票

率4割強で7割以上の議席を獲得できる過剰代表・上げ底政権がつくられてきた。

過剰代表を生む選挙制度の結果、政党助成金の過剰交付も生まれる。自民党の年間収入、2008年308億円で助成金158億円あり、その他の政治資金約150億円あったが、2009年民主党政権になり下野するとその他の政治資金（企業献金）約57億円に激減。その後政党助成金は100億円に減ると同時に企業献金も38億円から50億円を推移したが、2012年政権復帰と共に2013年は助成金150億円・企業献金82億円と増えています。

自民党の政治資金の翌年への繰り越し金は、2018年から185億円（うち助成金165億円）、2020年244億円（うち助成金239億円）、2022年214億円（うち助成金203億円）とため込みが続いています。

衆議院選挙や参議院選挙では、政治資金規正法で候補者への寄付が禁止されていますが、政党が公職の候補者に寄付する場合は例外とされています。また、政策活動費名目で幹事長らに支出した場合、収支報告義務がないために裏金は作り放題です。

内閣官房機密費も会計検査

院も領収書のチェックができない公金、私たちの税金で、年間12億円の9割は内閣官房長官が管理しています。

過去には、消費税導入時の野党対策や政治資金パーティー券購入など自民党のために使われた疑惑もあります。

政治資金パーティー券の購入も企業が買えば国民が企業をチェックする制度がないので裏金が簡単につくれる。何故、裏金が必要かというと石破さんが2024年7月の福岡での講演でぼろっと漏らした「自民党総裁選は公職でない。だからカネをばらまくというの、おかしくないですか」と思わずばらしています。

小選挙区制になり、自民党本部の力が強くなって、新自由主義が台頭してきた。自民党員はピークの547万人から2012年末には、73万人まで激減した。それでも選挙に勝ちたいと2019年の広島選挙区の河井杏里・克行夫妻の買収事件に現れるような買収が横行してきた。民意をゆがめる選挙制度はおかしい。

憲法改正の国民投票を考えると原則規制がない。CM規制はあるが、例えば「私たちは、憲法改正に賛成します」との意見表明は無制限にできる。有料広告も無制限にでき、カネのある改憲勢力が有利で、国民投票

の買収行為も「組織的多数数に對する場合に限定」されているので買収行為を裁判で訴訟しても国民投票無効の訴訟提起は、30日以内で改憲が成立してしまつ、と危機感を示されました。

議会制民主主義を確立し立憲主義を回復して「国民が主人公」の平和な日本にするために真の政治改革が必要。裏金に対して事務方が起訴され、世の中が変わってきた。政治とカネ、「脱税じゃないか」と国民が怒り、衆議院選挙・参議院選挙で自民党は過半数割れになった。先送りにされた「企業団体献金の禁止」、不十分な政治資金規正法のもとで脱法的資金作りが可能な政党助成金は廃止、民意をゆがめる衆議院の小選挙区制度・参議院の選挙区制度を見直し無所属でも立候補できる完全比例代表制を実現しましょう、とまとめられました。



自民・維新の連立にくらしを破壊！



11月1日、憲法共同センターの「平和憲法を守る街頭宣伝行動」に地区労連も参加し、「軍拡に反対し、国民の生活守れ」の署名協力を訴えました。

自公の連立が「企業献金禁止」や政治をカネの問題にけじめをつけないことは、問題だと公明党が連立を解消し、自民党は維新の会に連立をシフトし、高市政権が誕生しました。

自民と維新は、裏金問題や企業献金を棚上げにし、衆議院の比例削減や、憲法九条改悪や社会保障改悪、スパイ防止法制定などめざしています。

スパイ防止法は、1985年に中曽根首相時代に提出され「政府にとって思い通りに判断が可能な憲法」と大きな世論の力で廃案に追い込まれたものです。

参加者は、「国民を監視し、民主主義を破壊する自民・維新政権に『軍拡より、生活応援の政策を早急に』と訴え」、市民のみなさんは、署名に次々と応えていました。

あたにかいつなりをもつて 生きていくために

10月26日北九州市立男女共同参画センタームーブで第62回北九州母親大会が250人の市民を集め開催されました。

大会のスローガンは、「平和がいちばん」で、今年は戦後80年ということで様々な取り組みが各地で行われ、平和運動の前進と広がりが見られました。

しかし、同時に過去の過ちを認めず、核抑止まで認める勢力が勢いを持っています。

母親大会実行委員会は、「命を生みだす母親は、命を育て、いのちを守ることを望みます」のスローガンのもと北九州での母親大会開催に取り組みました。

地区労連として参加者の呼びかけや案内要員を配置し大会成功をめざしました。

記念講演で横浜法律事務所の太田伊早子さんは、「権力、財力、腕力のない人」の側に立つ弁護士として活動し、憲法を知ることと価値を認め合い他者と共に生きていくことに思いを馳せる人が増えることを願う憲法の講演を行ってきた人です。

講演では、「あたにかいつな

がりをもって生きていくために」とのテーマで「衆・参の与党過半数割れで激動する政治情勢の中で自民党と維新の会が連立し、高市首相が誕生した。参院選の民意は消費税減税や企業団体献金禁止だったが棚上げされた。軍事力増強をめざそうとしているが、憲法九条は無意味ではない。制定されてから戦後、戦争で亡くなった人はいない。今、岸田首相が『中国が危険』と言い出し、高市首相も軍拡を進めようとしているが、戦争が近いなら原発は大丈夫か。外交で平和を守ってきた。平和の努力に憲法九条がある」と話されました。

講演後、平和運動の交流があり、「大軍拡・戦争する国づくりから、命を守る平和な国づくり」を求める特別決議と「行政に住民の命と財産を守る責任を果たすことを求める」大会宣言を決議し、充実した母親大会となりました。



機銃掃射の跡が残る機関車庫

大分県玖珠町に豊後森機関車公園があります。

旧豊後森機関車庫・転車台は、国の登録有形文化財に登録された九州唯一の施設です。

扇型機関車庫と転車台は、久大線の中継点として繁栄し、物資輸送の拠点であったことで終戦直前に米軍機の機銃掃射に遭い、死者が出て機関車庫の外壁は、ガラスが割れ弾痕も残されています。



転車台の前には、大正時代に製造された蒸気機関車が展示されています。

このSLは、長崎線や唐津線を行っていたもので沢山の長崎原爆の被爆者を病院に運んだ機関車です。敷地内には、「豊後森機関車



ミュージアム」があり、鉄道の歴史を感じ学べます。(入場料100円) 旧豊後森機関庫の模型や鉄道員の制服など歴史を知る資料など鉄道ファンでなくても楽しめます。子どもたちには、鉄道の絵本があり、折り紙制作やプラパン製作などの体験もでき、鉄道を楽しむことができます。すぐ近くに豊後森駅があり、



ゆふいんの森号や或る列車など観光列車が通過します。運が良ければカメラに収めることができます。

日曜日であれば1周316mのミニトレインに乗ることができます。(1周200円) 豊後森駅に2時間無料の駐車場もあります。一度いってみませんか。



労働法コラム 第128

労災認定対象疾病について



黒崎合同法律事務所

平山 博久 弁護士

1 今回は、労災申請の対象疾病についてお話をしようと思います。

ある仕事に従事する中である疾病を発症した場合、この疾病が業務による疾病といえるかが、労災認定の対象疾病の問題です。代表的な疾病として、脳・心臓疾患、精神障害、石綿による疾病等が良くニュース等で挙がりますが、それ以外の一般的な疾病、例えば、腰痛や、首・肩・腕・手首等の疾病も業務上の疾病と認定される場合があります。

上の災害と認められるかは、その認定基準に沿って検討・判断がなされています。

2 例えば、タール様物質にばく露したことによる対象疾病等は、認定基準上、肺がん、皮膚がん、皮膚がん以外の皮膚障害等とされています。ですから、これらの疾病を発症した場合は、労災認定基準に記載されている有害業務に従事した期間や、その症状の内容等が労災認定基準を満たすか、という検討により、業務上・外の判断がなされる運用がされています。

3 それでは、労災認定基準の対象疾病にはない病気を発症した場合はどうでしょうか。当然に労災と認められないのでしょうか。

この点、労災認定基準の意義に立ち返って考えてみますと、同基準は、下部行政機関に対する運用のための通達であって、行政の事務促進と全国斉一な明確かつ妥当な認定の確保を図り、労災補償保険給付申請者の立証責任を軽減するための簡易な基準と考えられます。

ですから、認定基準がない疾病を発症したとしても、そのことが直ちに業務上の災害ではない、という結論を導くわけではありません。

あくまで業務による災害（業務と疾病との相当因果関係が認められれば、労災認定がされるべきです）。

最近、弁護士会がかかわった事件で、労災認定基準の対象疾病としては明示されていなかったものの、労災認定を勝ち取る経験をしました。

4 上記の通り、労災認定基準がなくとも、個別の疾病の内容、従事していた業務とその業務に内在する危険性、疾病の発症に至る機序、医学的知見その他具体的な個別事情

を考慮して、業務に起因することの明らかな疾病といえるかが命題のほうです。

ですから、労災認定基準に書かれていない疾病であっても、上記命題を満たすのであれば、業務上の災害と認められるはずですよ。

先の事件は、そのことを改めて確認することができた経験となりました。

労災認定基準にない疾病でも業務上の災害と認定される場合がありますので、お気軽にご相談下さい。

北九州地区労連

第86回評議員会のお知らせ

開催日 2025年12月4日(木) 18:30

場所 戸畑生涯学習センター3F 第一集会室

課題 2026年度春闘方針、
2025年度第1四半期・第2四半期の
収支報告等

役員・評議員の出席を
よろしくお願いいたします。

★映画と読書のすゝめ
「フレデター」…

バッドランド「コーヒー」

今月はおすすめの本がなかなか決まらず、最近見た映画を紹介。紹介するポイントは、「感情移入・感情的知性」「共感性」。投稿者は、元々映画が好き。この作品の紹介のコメントには、第1作からすでに40年経つとか。11月7日より公開。作品概要は、「フレデター」シリーズ初となる、主人公がフレデター…追放されたフレデターの「デク」が、生存不可能な「バッドランド」でザバイバルを繰り広げる物語です。SFの世界では、よくある設定ですが、まさに怪物退治もあり、主人公が「フレデター」の成長物語もあり娯楽要素満載の映画となっています。最後にポイントは、最近「ジェンダー平等」の学習会でこの映画の主題に遭遇。

① 戦争(闘い)遂行に不可欠な男性性②「感情的知性」や「共感性」は平和構築にとっても必要不可欠③兵士を殺人マシンに変えるために必要ものは↓母性(「他者への共感や愛着」を破壊すること)④平等・共感・協働の文化を広げるジェンダー平等は戦争する国づくりの文化とは180度異なる。このポイントも映画の主題にあります。